

- ・本県においてシラウオ類は12月～翌4月の漁期において、船びき網、さし網により漁獲されます。
- ・本県で水揚げされるシラウオは「シラウオ」と「イシカワシラウオ」の2種であり、その大半が「イシカワシラウオ」であるといわれています<sup>1) 2)</sup>。
- ・イシカワシラウオは年魚<sup>3)</sup>とされ、その資源量は生育時の環境に強く影響を受け、漁獲量が大きく変動する可能性があります。
- ・令和3年2月末現在の漁獲量は約10トンで前年総量の8%、漁獲金額は約16百万円で前年の26%となっています(表)。
- ・近年のシラウオ漁獲量は年々増加し、漁期後半の増加も見られていました(図1, 2)。
- ・令和3年漁期は船びき網による2月までの漁獲量が約7トンで前年同期の28%、さし網の2月漁獲量が3トンで60%と低調に推移しています。

表 本県におけるシラウオ漁獲量・金額・平均単価

		令和3年漁期*	令和2年漁期	令和元年漁期	平成30年漁期
漁獲量 (トン)	船びき	7	60	43	26
	さし網	3	65	24	10
漁獲金額 (百万円)	船びき	13	35	36	32
	さし網	3	26	18	16
平均単価 (円/kg)	船びき	1,869	592	851	1,254
	さし網	1,150	400	754	1,597

\* 2月末時点の速報値

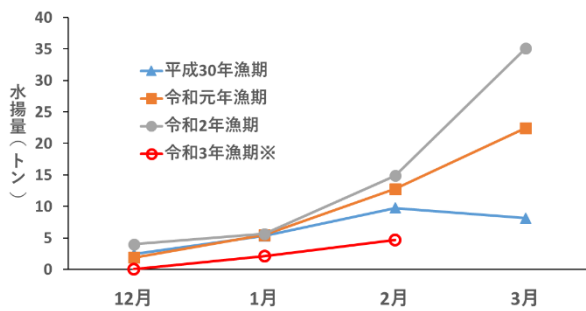


図1 漁期ごとの月別漁獲量 (船びき網)

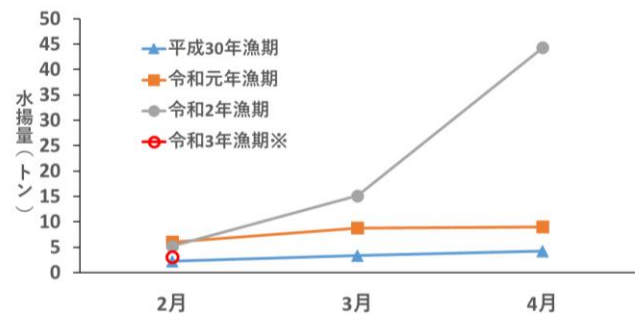


図2 漁期ごとの月別漁獲量 (さし網)

【備考】集計は各漁業協同組合の水揚げ月報を用いました。

- 1) 竹内 啓：福島県産シラウオの研究－I 種の査定、福島水試研報、1、1-7 (1972)。
- 2) 鈴木 馨・岩上哲也・遠藤克彦：福島県富岡周辺海域における産卵期のイシカワシラウオ、福島水試研報、10、1-15 (2001)。
- 3) 堀 義彦：イシカワシラウオ *Salangichthys ishikawai* WAKIYA et TAKAHASHI の生活について I 成長 二次性徴 卵巣 抑卵数について、茨城水試試験報告、昭和43年度、41-46 (1969)。